

田代のヒメシヤラとオハツキイチョウ

私の住んでいる神田区の田代

に弥栄神社という神社がありますが、その神社の境内に二本の名木があります。今回は、その二本の木をご紹介します。

一本は、神社の本殿の隣に立つ、町指定の天然記念物の『田代のヒメシヤラ』です。鳥居をくぐって三十メートルほど上がると、この木は本殿の右奥にあります。木の横の標柱には

「幹囲二、二メートル枝下約六メートルを測り、姿・形を共にこの樹種中では町内随一。ここ神田ではサルスベリと言いますが、サルスベリとこの木は別で、ヒメシヤラの花は白色です」と記されています。

【弥栄神社】



田代のヒメシヤラ

そして続けて、

「最近、枯れた木が倒れてヒメシヤラにかかっています。これでは写真にならないので何とか撤去できないでしょうか」と依頼されました。ちょうどその時は、神田地域づくり委員会と神田地区内にある申方のエドヒガンザクラ、黒梅、神田の三滝などを手入れして後世に残そうという活動をしていたので、早速森林組合にお願いして、掛かり木を伐ってもらいました。

次にこの弥栄神社の境内にある『田代のオハツキイチョウ』をご紹介します。

この木はこの神社の鳥居と町道の間にあります。オハツキイチョウとは、イチヨウの変種葉の上に実を結ぶという珍しいイチヨウです。以前、私が本で調べたときはこのオハツキイチョウは全国に二十七本あり、愛知県に二本。そのうちの一本がこ

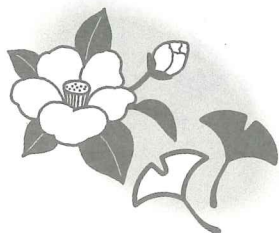
の木でした。

その後、町内の名倉や津具でも発見されたようです。この実の付いた葉を拾うのは、九月中旬頃がお勧めです。特に台風の前などは、数多く落ちていきます。

なお、この神社の辺りは『ヤマビル』が多い場所です。この二本の木をご覧になれるときは、十分お気をつけください。

(設楽町文化財保護審議会委員

宮本 典幸)



「田代のヒメシヤラは姿・形が素晴らしい。あんなにまっすぐ伸びた格好のいいヒメシヤラは何処にも無いと思う。私は日本一のヒメシヤラだと思おう」と話されました。